

伊藤好道 いとうこうどう 評論家、政治家。明治二十四年十一月五日愛知縣生
れ、昭和二十一年十一月二十日没（一九二一卒）。大正十四年東京帝國
大學法學部卒、昭和二年同大經濟學部卒。『中外商業新報』記者とな
る。十一年人民戰線事件に連坐、十四年滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）
嘱託、二十一年日本社會黨入黨、二十七年衆議院議員。

譯著書の、ピオントコフスキー著『ソヴェート政權獲得史』（萩原厚
生共譯、再版・昭和五年四月）、『南蠻書房』労働者・農民版）、『戰
争の理論』（合著、昭和十一年十一月）『日本評論社』『日本評論』第
十（二卷第十）號別冊附録）、『社會主義的政府が出来たら』（合著・
鈴木茂二郎監修一編、昭和二十一年四月五日労働文化社）、『風』に
エーマニスト―近代日本の革命的人間像』（合著・學生書房編集部編、
昭和二十二年四月二十五日、再刊・二十四年十月二十一日學生書房）、
『光』に掲げた人々―民主主義者の思想と生涯』（合著、昭和二十一年
二月二日新興出版社）等。